

有馬高新聞 号外 令和6年10月 番外編 1学年の活動

1学年 総合的な探究の時間 前期のまとめ

北海道の原生林

10月3日(木)、「北海道の原生林」についての講話がありました。日本、世界では森林とSDGsを絡めてどのような取り組みがあるのか学びました。



今回講師をしてくださったのは、現在知床で森林の調査に勤んでいる鈴木さん。知床の地域課題、森林生態系について学びたくさん考えられたようです。

<以下、講話後のアンケートより>

- ・知床は人工林が3割で自然林が7割だとわかりました。伐採した木は、回収せずに、あえてそのままにすることで動物たちの住処になることがわかりました。森林に二酸化炭素を吸わせる為に、植林をしている国が多いとわかりました。
- ・木をただ植えて増やせばいいだけではなく、できるだけ自然に近い形にすることが重要だと知った。
- ・天然の質がいいものじゃないと意味があまりないと知りました。森林の質が悪いと、森林砂漠になってしまい森林はあるけど生物がない現象になってしまうとわかりました。

ネスレ サステナビリティ プログラム

10月10日(木)、ネスレより、サステナビリティプログラムの紹介がありました。動画を見た後は、近くの席の生徒同士でマイサステナビリティアクションのアイデアを考え、話し合いました。



海水に溶ける プラスチック	マイボトル 持参	コンポスト
地産地消の 促進	フェアトレード 商品	拾ったごみアート 展示会

／ 生徒からでた
アイデアの一部
＼



<以下、講話後のアンケートより>

- ・自分ができること（詰め替え用品を買ったり、エコバッグやマイボトルを持ち歩いたりする）をやりたいです。
- ・自分の周りに当たり前のようにあるものが未来でもあるとは限らないということを改めて実感できました。

**後期からは
班ごとのテーマ別
学習スタート!**